参　考

ロードマップの全体像

● ゼロカーボンロードマップは、『ゼロカーボンビジョン2050』※1を実現するための道筋を定めたものです。

※1：ビジョンにおける3つの柱（デマンドサイド・サプライサイド・水素）をそれぞれ、「お客さまや社会の皆さまと取り組むこと」/「関西電力グループ自ら取り組むこと」（水素含む）と整理
※2：事業活動に伴うCO2排出ゼロに向けては、関係会社分の取り扱いも含め、技術開発や政策・制度動向に応じて、ロードマップを柔軟に見直しながら、実現を図ってまいります

みんなでアクション すすめ、ゼロカーボン!

関西電力グループ自ら取り組むこと

- 「再エネ」「原子力」「ゼロカーボン火力」「水素」の各分野で、ゼロカーボンに向けた様々な取組みに挑戦します。
- 原子力の安全安定運転を継続し、発電によるCO_2排出量を2025年度に**半減(2,500万t以上削減)**。2030年度に向けて、原子力・再エネを中心に、さらなる削減深掘に取り組み、削減率でトップランナー水準を実現し続けることを目指します。

発電による**CO_2排出量半減**
(国の2030年目標を5年前倒し達成)

2025 → トップランナー水準 → 2030 → 排出ゼロへ → 2050

さらなる削減深掘
排出ゼロへの布石

ゼロカーボン発電電力量国内No.1	半減に向けた取組み	
再エネ	● 2040年までに、洋上風力中心に、国内で**1兆円規模の投資**を行い再エネ新規開発**500万**kW、累計開発**900万**kW規模へ	
原子力	● 原子力の再稼動	
	● 原子力の運用高度化	
	● 新増設・リプレースに向けた取組み(次世代軽水炉・SMR※1・高温ガス炉等)	
	● 水素製造への活用	
ゼロカーボン火力	● ゼロカーボン燃料混焼	● 専焼化への取組み
	● CCUS※2技術評価	● 導入検討
水素	● 海外水素調達	● 海外調達の拡大と国内製造
	● 水素販売開始	● さらなる事業拡大

※1.SMR：小型モジュール炉　※2.CCUS：排ガスからCO_2を回収し、有効利用または地中等に貯留する技術